

國玉碧笑君送別句集

平 局 俳 黎 會

句友碧笑君與亞之大志に燃ち今般上海に旅立たる同君の壯行を祝し惜別の句會を開く。

- 日涼、薄にさから、雁一つ
- 忘れぬ物見ヶ丘の夏月
- 月涼しきよみ走ら露の上
- 夏月の落ちてより野の灯空に
- 夏の音は夏月白き野に沈む
- 夏の月波、散る岸壁を若く濡らす
- 月涼し河原小石拾ひ投ぐ
- せりぎや谷の大樹、月涼し
- 月涼しラヂオに遠く人の居る
- 太平洋に仕てゆひ初船と夏の月
- 夏の月窓にけちちり住む

ごせうの夜學

青 梅

島田 忠夫

青梅
ころろころ
青きさの
なかに
草蟲が
おどろいた
芋蟲
ころろころ

戦線を想ふ

宇 佐 美 定 晴

○初夏の池の邊りに風受けて想ひの舞妓の姿
○戦況の臨時ニュースを聞き毎に遠き戦地の友を
忍びぬ
○微笑も功も三才になりけると妻の便りを讀む友
の聲
○何處か、心ゆくも、空歌故郷を立つ日に我
も唄ひ
○春風、打たれて、庭の一過に若葉に搖ぐをあく迄
見つむ
○池の面、約束の線、白衣に、春の名残りの花
片を散る



行發日三十二月六
天 氣 豫 報
今 朝 北 西 風 強
小 雨 模 様
明日 南 東 風 強

三五郎の口吻に、金四郎専横から女が捕つたといふのキラキラした光りだ。その表に、巨きな影を大に影かして、金四郎を待たせれば、手を引きたい男が、支那の紳商で、徐正権といふのだ。

「先生、この未知なる男の出現に一層おびえなされる。おびえ、先生。取りなす。先生は、ヤツとお居敷、委をせなすのだらう。」

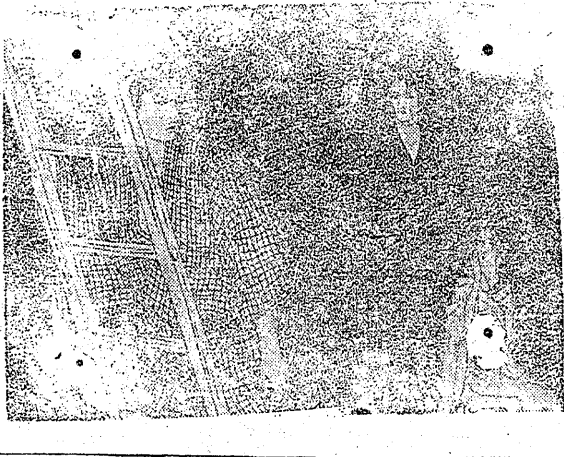
「お、田原先生、何かと、三三郎は、ホッとして、あつした。誰かよく、お話を聞かせたのか、思ふ、お話を聞かせました。」

恩讐無道

久 我 莊 多 郎

香川三十代

「先生、この精、どうなすつていらしゃいますか？うちの旦那、先生の妾に浮いてゐる遊び人さやういふ旦那も、お話を聞かせましたか？」
金四郎の前身と知らぬ者は、三五郎が金四郎を指して「先生」と呼ぶことに、



「先生、この精、どうなすつていらしゃいますか？うちの旦那、先生の妾に浮いてゐる遊び人さやういふ旦那も、お話を聞かせましたか？」
金四郎の前身と知らぬ者は、三五郎が金四郎を指して「先生」と呼ぶことに、

笑天三三

私には平市出身ですから特に郷里の音聲方の爲めに御便宜を願ひます
主人 比佐棟雄

病室・手術室完備

婦人科 五十嵐雄二
（物理療法科併置）
平市新川町（電話三六九番）

胃腸薬

或は下痢或は胃腸を害せたりして三日四日も便通通がなくて頭痛を感ずる御方はキキメの早い
胃腸薬 心臓病 痔 適量
三年五年と思ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御座る方には見本薬一分を送上げますから早速御座る御座る御座る
平市古治町（電話二二二番）

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
鈴木 正 男
平市田町（電話五八番）
藤田女学校前

石綿ムシカマド

實用新案
第一七八三〇號
意匠登録
第六六一六七號
石山式

故障の起りぬ

原口のラヂオ
電灯屋内配線無料
聴取申込料無料
受信機試験料無料
六月一日ヨリ七月卅一日まで
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（時出）166

病者の福音

原因から治療する東洋醫學の新しい療法、迷はず疑はず今すぐ治療効果を試みられよ見離されたる急性慢性の難病が迅速確實に根治す萬上の實價は實驗者の立証に徴して明かなり

富三商店

世界代表
シンガポール
アサヒ
ニッポン
コントロール
◎月賦販賣 ◎無用教授

初夏の味

小籠いちご園
最新型フオード
断然!!! 乗り心地良い!!!
入車いたしました。
是非! 御試乗の程を! 市内四丁目
スモキタクシ
電話二一七番

天井板、ベニヤ板買ふなら

確かに御期待に添ふ良品廉價の
万蔵田材木商店
電話 平 四六〇番
福島 平 市
電話 平 四六〇番
電話 平 四六〇番

胃腸病 性病科

内 科
胃腸病科
皮膚科
性病科
院醫科性病腸胃
(番七〇一電町南市平)

柳川料理

御會食 御婚會
柳川料理を始メマシタ
平市田町 電話一七一番
料理部

